



Newsletter

vol.41

「ぴあ・かもみーる」日記⑱ ●
パオを旅立った子どもたちの今 ●



パオの
現いま

「ぴあ・かもみーる」日記 ⑱

Aさんとは、出会ってからもうすぐ4年になります。

Aさんはぴあかもでは数日間を過ごただけでしたが、パオのパートナー弁護士としてその後の様子などをお伝えしようと思います。

Aさんとは私の勤務先の事務所で初めて出会い、後日、パオの事務局でAさんがぴあかもとの利用契約を行った際に同席しました。その日からぴあかもで生活する予定でしたので、「初めての場所で過ごすのに、おいしいものがあると元気がでるかも」と考え、動物の柄の缶に入ったクッキーを渡しました。随分迷って選んだのですが、特に喜ぶ反応もなかったため、会って2回目でプレゼントをするのはよくなかったのではないかと考えました。

Aさんはぴあかもで数日過ごした後、医師と相談の上入院することになりました。入院後、初めの頃、外出はできませんでしたが、面会室での面会とその際の飲食は許可されていたので、私はAさんへのおみやげを探すのが楽しみでした。Aさんとの会話の中で好きなものを尋ねると、真っ先にチーズケーキを挙げましたので、私はおいしそうにチーズケーキをあれこれ探して持ってきました。

しばらくしてチーズケーキに飽きてきたのか、ハンバーガーやフライドチキンがいいな、という話になりました。フライドチキンなどと一緒にペットボトルも持っていくのですが、できるだけAさんの飲みたい種類を聞き、探して持って行きました。

外出が許可されるようになると、一緒にパートナー弁護士をしているT弁護士と3人でいろいろな所に行きました。東山動植物園や名古屋港水族館にはそれぞれ数回ずつ訪れています。動物園では、皆でフクロテナガザ

ルの声に驚きました。ものまねの得意なAさんは、その後何度も真似をして私たちを笑わせてくれます。

1年くらい前、Aさんは体調を崩して別の病院に入院しました。お見舞いに行くと、ベッド横の机に、以前プレゼントした動物の柄のクッキー缶が置いてあったのでした。周りにはたくさんの手紙と映画チケットの半券も。手紙は、Aさんと文通している私が送った手紙でした。映画チケットは、Aさんのお誕生日祝いに一緒に映画を観に行ったときの半券でした。「クッキーの缶は宝物入れにしている」とAさん。あのとき、「プレゼントしたのはよくなかったのではないか」と思っていたので、本当に嬉しかったです。

この入院後は、外出時の飲食が不許可となってしまう外出時には主に買い物に行くようになりました。お菓子や飲み物を買うのですが、毎回かなりの重さになるのでAさんと私は大変鍛えられます。

Aさんは、この春、グループホームで生活を始めるようになりました。出会ったとき15歳だったAさんが、今度の誕生日には20歳になります。これまでいろいろ話したり、一緒に過ごしたりして、Aさんとたくさんの思い出ができました。パオのパートナー弁護士としてAさんと出会うことができ、とても嬉しく思っています。(A)

